

# 石油製品の価格動向について

平成18年11月17日  
生活環境部  
総務企画グループ

## 1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、11月10～15日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	11月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	140	137	▲2.1
		セルフ	138	133	▲3.6
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	118	115	▲2.5
		セルフ	115	113	▲1.7
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,427	1,347	▲5.6
		セルフ	1,368	1,305	▲4.6
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,539	1,453	▲5.6
LPガス	一般家庭用、10㎡	一般店舗	6,588	6,634	0.7

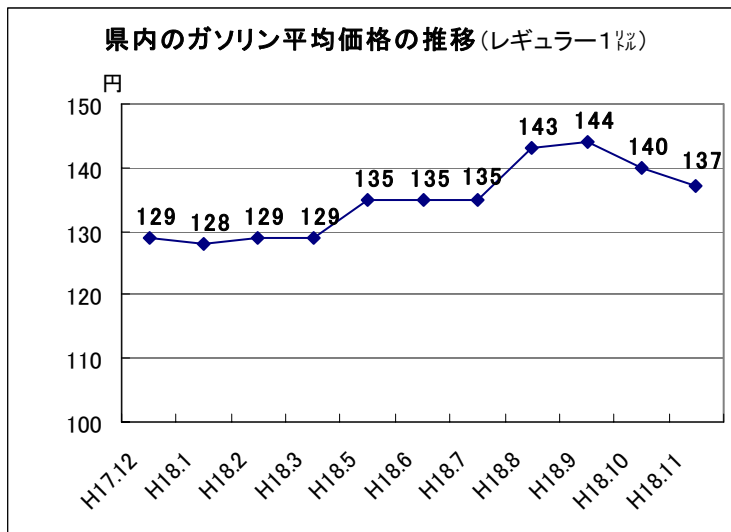
◎ 前月（10月）は、原油価格の下落による調達コストの低下により、ガソリン等すべての品目において小売価格が値下がりしたが、11月も、元売会社が卸売価格の値下げをしたことなどからガソリン、軽油、灯油の小売価格はさらに一段値下がりし、LPガスはほぼ横ばいとなった。

国際的な原油価格の低落傾向はしばらく続くものと見られることから、小売価格もさらに値下がりすることが予想されるが、冬場に入り灯油の本格的な需要期を迎えたことなどから、今後も引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

## 2 県内の石油製品価格の推移

### (1) ガソリン価格

※ 一般店舗価格

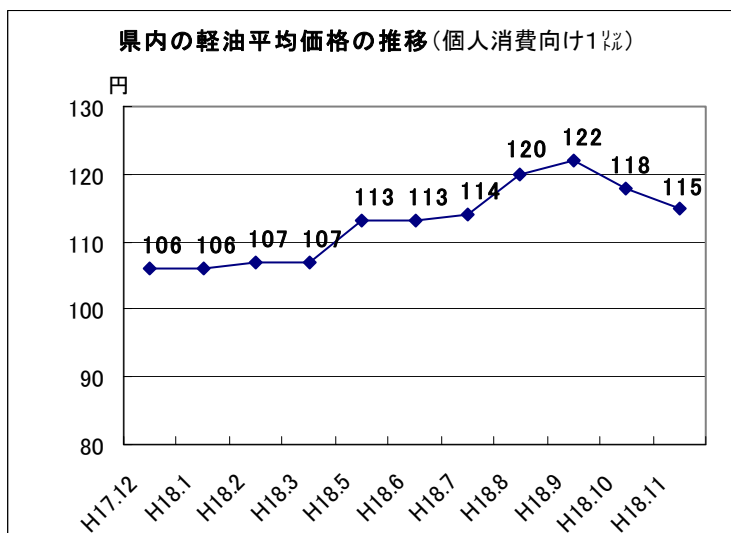


- ◎ 10月調査結果と比較すると、11月は、元売会社が卸売価格の値下げをしたことなどにより、3円値下がりした。

国際的な原油価格の低落傾向はしばらく続くものと見られることから、小売価格も値下がりすることが予想されるが、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (2) 軽油価格

※ 一般店舗価格

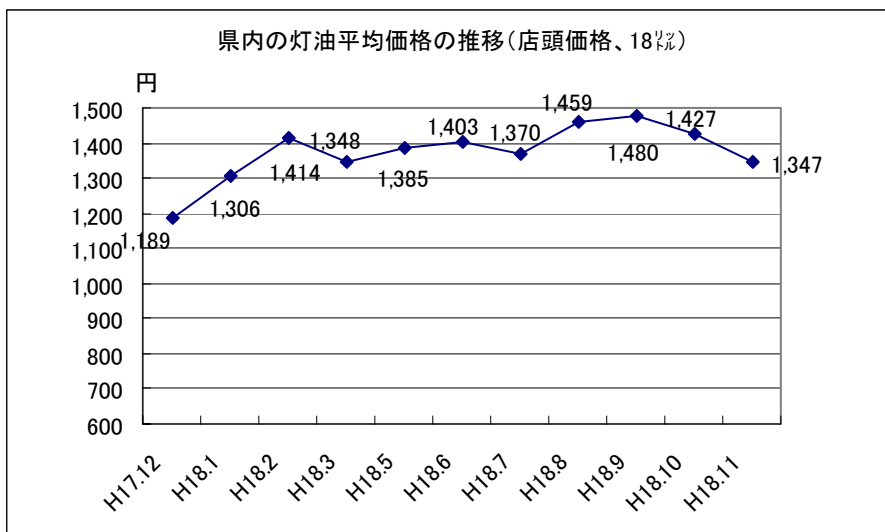


- ◎ 10月調査結果と比較すると、11月は、元売会社が卸売価格の値下げをしたことなどにより、3円値下がりした。

国際的な原油価格の低落傾向はしばらく続くものと見られることから、小売価格も値下がりすることが予想されるが、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (3) 灯油価格

※ 一般店舗価格

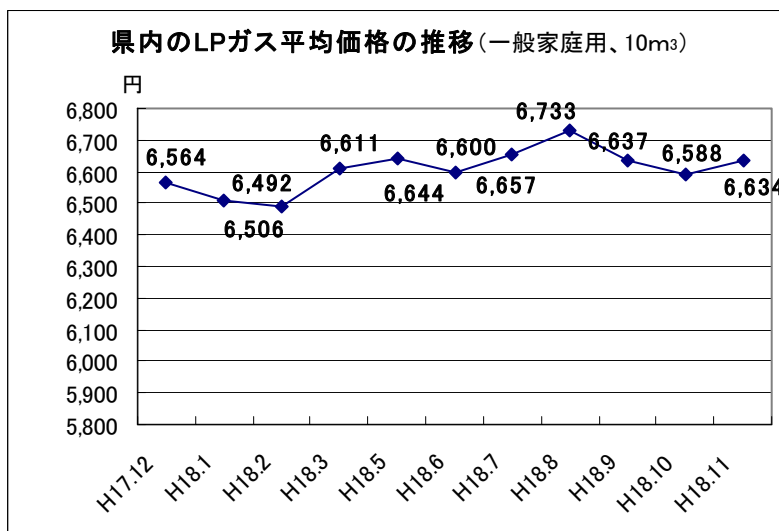


- ◎ 10月調査結果と比較すると、11月は、元売会社が卸売価格の値下げをしたことなどにより、80円(1ℓ当たり約4円)値下がりした。

国際的な原油価格の低落傾向はしばらく続くものと見られることから、小売価格もさらに値下がりすることが予想されるが、冬場に入り灯油の本格的な需要期を迎えたことなどから、引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

### (4) LPガス価格

※ 一般店舗価格



- ◎ 値下がりが続いた9月・10月調査結果と比較すると、11月は6,634円と、小幅ながら値上がりに転じ、昨年12月以降高水準での推移が続いている。国際的な原油価格の低落傾向はしばらく続くものと見られるが、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。